



## CHAPTER 6

# SIP ユーティリティ API

---

Lua 環境には、データ文字列の操作を可能にする API が用意されています。次の SIP ユーティリティ API が使用可能です。

- [parseUri](#)

## parseUri

```
parseUri(uri)
```

この関数は、URI 文字列が指定された場合、指定された URI を解析して sipUri オブジェクトに組み込み、その sipUri オブジェクトを呼び出し側のスクリプトに返します。有効な URI が指定されなかった場合は、Null が返されます。

例：

### スクリプト

```
MM = {}  
function M.inbound_INVITE(msg)  
    local uriString = msg:getUri("P-Asserted-Identity")  
    if uriString  
    then  
        local uri = sipUtils.parseUri(uriString)  
    end  
end  
return M
```

### メッセージ

```
INVITE sip:1234@10.10.10.1 SIP/2.0  
.  
P-Asserted-Identity: <sip:1234@10.10.10.1>  
.
```

### 出力/結果

```
Local variable uriString is set to "sip:1234@10.10.10.1"  
Local variable uri is a sipUri object containing the parsed form of uriString  
"uri:getUser() is "1234"  
"uri:getHost() is "10.10.10.1"
```

